

平成 30 年度第 8 回看護学群教授会議事録（定例）

開催日時	平成 31 年 2 月 6 日（水）16 時 00 分～17 時 30 分
開催場所	宮城大学大和キャンパス本部棟 3F 大会議室
出席者	<p>（学群長）原 玲子 （教授）安齋由貴子，石原美和，大熊恵子，大塚真理子，風間逸郎，木村眞子，桑名佳代子，佐々木久美子，塩野悦子，菅原よしえ，高橋和子，武田和久，武田淳子，真覚健，山田嘉明，吉田俊子 （准教授）桂晶子，木村三香，鹿野裕美，出貝裕子，萩原潤，山岸利次，渡邊章子 （講師）小松容子，鈴木敦子，志田淳子，松永早苗，三上千佳子 （助教）大槻文，勝沼志保里，河良香澄，後上亜友美，坂本希世，菅原亜希，佐藤泰啓，霜山真，庄子美智子，千葉洋子，徳永しほ，成澤健，二瓶映美，松永雄至，村崎志保，柳谷利恵，山本文枝</p> <p style="text-align: right;">構成員出席 46 名／49 名（職位別 50 音順，敬称略）</p> <p>（オブザーバー）千葉はるみ特任教授</p>
欠席者	石塚直子，坂東志乃，丸山景子
事務局	佐藤課長補佐，平主事
議事概要	<p>1 教授会議事録 （1）平成 30 年度第 8 回教授会議事録署名人の指名について 本日開催教授会の議事録署名人として菅原よしえ教授を指名した。</p> <p>2 議事 （1）客員教授・臨床教授の推薦について 原学群長から，資料 1 に基づき平成 30 年度客員教授及び臨床教授の候補者の推薦について説明があり，一部修正があったが，審議の結果，原案のとおり承認された。</p> <p>＜客員教授候補者＞計 15 名（更新 11 名，新規 4 名） 更新 ○○ ○○ 更新 ○○ ○○ 更新 ○○ ○○ 更新 ○○ ○○ 更新 ○○ ○○ 更新 ○○ ○○ 更新 ○○ ○○ 更新 ○○ ○○ 更新 ○○ ○○ 更新 ○○ ○○ 更新 ○○ ○○ 新規 ○○ ○○ 新規 ○○ ○○ 新規 ○○ ○○ 新規 ○○ ○○</p> <p>＜臨床教授候補者＞ 計 2 名（継続 2 名） 継続 ○○ ○○ 継続 ○○ ○○</p> <p>＜臨床准教授候補者＞計 10 名（継続 8 名，新規 2 名） 継続 ○○ ○○ 継続 ○○ ○○ 継続 ○○ ○○ 継続 ○○ ○○ 継続 ○○ ○○ 継続 ○○ ○○ 継続 ○○ ○○ 継続 ○○ ○○ 新規 ○○ ○○ 新規 ○○ ○○</p> <p>（2）「看護学群教員の選考に関する申し合わせ（案）」について 原学群長より，資料 2 に基づき看護学群教員の選考に関する申し合わせ（案）に関する説明があった。一部修正があったが，修正することを前提に承認された。</p> <p>（3）「看護学群の昇任に関する申し合わせ（案）」について 原学群長より，資料 3 に基づき看護学群の昇任に関する申し合わせ（案）に関する説明があった。一部修正があったが，修正することを前提に承認された。</p> <p>（4）特任教授の推薦について 原学群長より，資料 4 に基づき特任教授の推薦に関する説明があり，1 名の新規任用が承認された。</p> <p>＜特任教授＞ 新規 ○○ ○○</p>

3 報告事項

(1) 教育研究審議会報告

原学群長より、報告資料1に基づき平成31年1月23日に開催された教育研究審議会について報告があった。宮城大学広報基本方針や、平成31年度入学者選抜試験の実施状況、高大連携プロジェクトチームの取組状況等について報告がなされた。

(2) 国際交流・留学生センター運営委員会報告

志田委員より、報告資料2に基づきリアルアジア、次年度のTOMODACHI国際看護プログラムについて報告がなされた。リアルアジアについて、期間は3月15日から3月29日までであり、看護学群では1年生1名、2年生2名の計3名が参加予定である旨説明があった。TOMODACHI国際看護プログラムについて、募集対象学生は新4年生であり、今年度までは東日本大震災の被災三県が募集対象であったが、次年度からはそれが撤廃され、全国から募集されることとなった旨説明があった。公衆衛生看護学実習との時期の兼ね合いから、参加を希望する学生は事前に安齋教授と相談した上で応募するよう説明があった。募集スケジュールとして、3月上旬に学生の推薦者を決定し、4月上旬に参加者が確定することについて周知された。

(3) 研究委員会報告

桑名委員より、報告資料3に基づき平成31年1月30日開催の全学研究委員会について報告がなされた。

(4) 教員評価制度検討委員会報告

山田委員より、報告資料4に基づき平成32年度（平成31年度の実績に基づく）教員評価制度案について報告がなされた。

(5) 教員評価専門委員会報告

山田委員より、報告資料5に基づき平成31年度（平成30年度の実績に基づく）教員評価の実施について報告がなされた。

(6) カリキュラムセンター報告

菅原副センター長より、口頭報告により以下のとおり報告がなされた。学修評価について、看護学群では卒業研究ではなく、総合実習にて評価する旨説明があった。

1. 4年間の学修評価について
2. シラバスチェックについて

(7) 学群各ワーキンググループ報告

①キャリアワーキンググループ報告

佐々木キャリアワーキンググループ長より、報告資料6に基づき以下のとおり報告がなされた。

1. 就職状況について
2. 国家試験模擬試験の結果について

②地域連携・看護実践ワーキンググループ報告

木村地域連携・看護実践ワーキンググループ長より、報告資料7に基づき2019年度看護人材育成・支援事業 事業計画案について報告がなされた。

③予算・財政ワーキンググループ報告

高橋予算・財務ワーキンググループ長より、報告資料8に基づき、以下のとおり報告がなされた。

1. 次年度予算案の修正版について
2. 本年度予算の執行について
3. 教育費で購入した書籍等の登録と廃棄について（案）
4. 教育費で購入した備品等の管理と廃棄について

④学生ワーキンググループ報告

大熊学生ワーキンググループ長より、口頭報告により、平成 31 年度学群新入生交流会について報告がなされた。次年度の新入生交流会は 4 月 17 日（水）5 限目に行う予定であると説明があった。

⑤実習ワーキンググループ報告

出貝実習ワーキンググループ長より、報告資料 9 に基づき、以下のとおり報告がなされた。実習費の申し合わせについては、従前謝金と明記していた箇所を実習費に変更した旨説明があった。

1. 実習費の申し合わせの改正について
2. 2020 年度実習計画について

(8) その他

①基盤教育群報告

大熊教授より、口頭報告により、以下のとおり報告がなされた。次年度のスタートアップセミナーの担当教員について、桂准教授、鈴木講師、渡邊講師、松永早苗講師に確定し、2 月 27 日（水）13 時より説明会がある旨説明があった。また、次年度の地域フィールドワークの看護学群担当教員の中間報告として、コア教員は大熊教授、齊藤准教授、木村准教授が確定し、支援教員については検討中である旨報告があった。

1. 平成 31 年度看護学群 SUS・AS 担当教員（担任）について
2. 平成 31 年度地域フィールドワーク 看護学群担当教員について

4 その他

・人事について

原学群長より、人事について報告がなされた。公募中であった、在宅看護学領域の助教に、現在地域看護学領域に在籍している〇〇 〇〇の応募があったため、在宅看護学領域へ 4 月 1 日付で配置換えする旨説明があった。そのため、新たに地域看護学領域の助教に関して、公募中である旨説明があった。

・看護学群の将来構想（案）について

原学群長より、その他資料 1 に基づき、看護学群の将来構想（案）について報告がなされた。特色ある新たな取り組みとして、本学の他学科との連携をとりつつ、起業家ナース育成教育課程（案）を検討しており、全学に報告する旨説明があった。また、基礎看護学教育課程について文部科学省にて見直しがされており、新カリキュラム改定のスケジュールについて周知され、新カリキュラム開始に向けて、準備を進めていく旨説明があった。

・学系について

原学群長より、その他資料 2 に基づき、学系について報告がなされた。

・次年度の病態学の解剖実習について

武田和久教授より、病態学の一環である、解剖実習見学の日程について 7 月 4 日に確定した旨報告がなされた。

氏名 原 玲子 印

氏名 菅原 よしえ 印

以上